

# もりの伝書鳩

■発行 北海道石狩振興局森林室 石狩郡当別町栄町 197-2  
電話 0133-22-2161  
FAX 0133-22-0551

HP <http://www.ishikari.pref.hokkaido.lg.jp/sr/srs/index.htm>

## ■カツラ □カツラ科

日本の代表的な名木のひとつで、芽吹きは紅色、秋の黄葉が美しい木です。

葉は、秋に黄色くなって落葉する頃、においが醤油のにおいに似ていることから「ショウユノキ」、「ミソノキ」と呼ぶ地方があります。

北海道では一番大きくなる木といわれています。カツラの碁盤は、長時間打っても肩が疲れないといい、碁盤・将棋盤の多くが作られています。

※参考：おもしろい木の話（北海道林業改良普及協会）



## 木育やっています

当森林室では、教育機関と連携した木育に取り組んでおり、その中から冬山で行った森林学習を紹介します。

### ■2月22日に札幌市立盤溪小学校の学校林にて、「冬の森の学習会」として、3, 4年生がツル切りの林業体験学習をしました。

盤溪小学校は、自然に恵まれた環境から、森林を守り育てることや森林に親しむことを目的として森林体験学習を継続して実施しています。今回の「冬の森の学習会」は、好天にも恵まれ、なかなか触れる機会が少ない冬の森林を楽しみました。

#### ●ツル切りって??

先生と札幌森林組合の組合長さんからのお話です。  
『今回の森林作業はツル切りです。』  
『どうしてツルを切るの?』  
『ツルが巻き付いたままだと、木さんも苦しいでしょ。だから切って木さんを楽にしてあげるんだよ。』



なぜツル切りするのかを聞きます

#### ●ヘルメットをかぶって、スノーシューを履いて、さあ！ツル切りにしゅっぱ〜っ！！

スノーシューを履くのに四苦八苦です。  
『大丈夫。昨日みんなで練習したんだ。でも〜へんだなかなかうまく履けないや』  
というようなぼやきもありまして、つる切りの現場までスノーシューで3〜400メートルを歩きます。  
『けっこう歩きにくいなあ。昨日履く練習はしたけど、歩く練習はしなかったもんね。』



スノーシュー着用完了

#### ●ツル切りです！！

『ツルが切れたよ！木さん苦しくなくなった?』  
作業を終えて、帰り道は下り。  
スノーシューにも慣れてきました。  
雪の中へジャンプしたり、転げ回ったり大はしゃぎでした。



けっこうあるきにくいなあ



#### ●どろーん?!

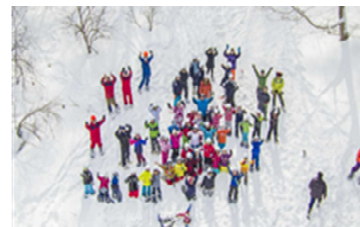
今回の作業は、札幌市森林組合が、ドローンを使って、学校林や、作業の様子を空撮しました。盤溪小学校では初の試みです。  
『ドローンだ、ドローンが来たよ!』  
もの珍しさもあって、子どもたちは(大人たちも)大興奮でした。  
今後はこのような森林教室が増えるかもしれません。(N)



帰り道はダッシュ&ジャンプ



ドローンが来たよ!



手を振る子どもたちを上空から撮影

# 木育ヒント（こんなことやってみました）

当森林室では、学校での森林教室やたくさんの方が集まるイベントで、木育のプログラムを行っています。準備は省力ですが、参加者の方に好評だったプログラムを紹介します。（オリジナルではありませんが）

## ミニツリーづくり

季節外れですが、外出した時に拾った松ぼっくりで楽しめます。

### ■松ぼっくり集め

①好きな松ぼっくりを拾います。



#### モンタナマツ：マツ科

特長：幹がまっすぐ伸びず、根元から分かれて出て、高さ約3m位になる。原産地はヨーロッパ。

公園、庭木、海岸林で多く見られる。

### ■色塗り

②好きな色のスプレーで松ぼっくりを塗ります。

\*乾かしながら何度も重ね塗りをするときれいに色づけされます。



今回のツリーにはモンタナマツを使います。他の種類は、リース等の飾りに使うことが多いです。

### ■飾り付け・完成

③好きな飾り（ビーズ・リボンなど）をグルーガンやボンドでつけて、飾ります。土台になるペットボトルキャップもつけます。



④乾いたら完成です！！

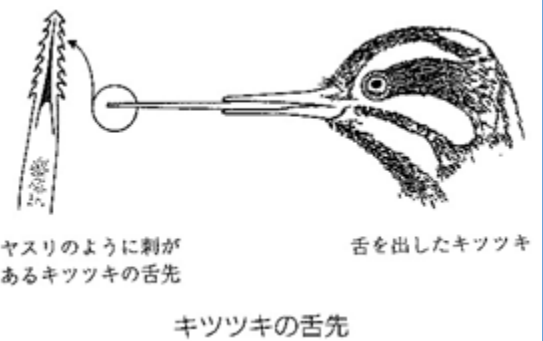


## 一森の不思議シリーズー キツツキが木の幹をたたくのはなぜ？

### ■森の生活に適した体

キツツキは森に住む鳥で、森の中で生活しやすいような体になっています。最も特徴的なのは足で、普通の鳥は前方に3本、後方に1本と分かれています。キツツキは前後2本ずつになっています。これは、幹を垂直に昇り降りするのに大変都合が良いのです。

また、舌は根本の方が頭の上の方までまくれ上がっており、これを延ばすと、舌そのものの長さの2倍ほどになります。しかも、その先端は楕円形でヤスリのようになっていて粘液に富んでいるので、幹の深いところにいる虫などをひっかけて引きずり出したり、木の皮や地上をはっているアリなどを食べるのに都合が良いようになっています。



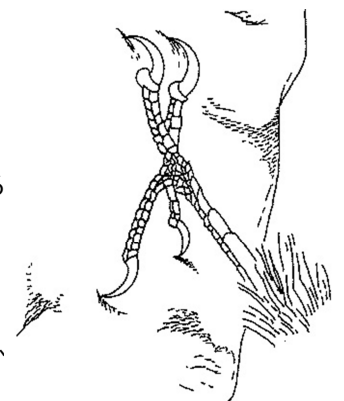
### ■幹をたたいて恋人を呼ぶ

春になって繁殖期が近づくと、枯れた木を連続してたたき、大きな音を響かせます。これは、なわ張りを守ったり、メスを呼ぶため、ドラミングといえます。また、幹のあちらこちらを太くて丈夫なくちばしてたたいて、昆虫の居場所を突き止めるための動作でもあります。

### ■木の実は食べる

キツツキの主な餌は、樹木や森の中にいる昆虫類（冬は特にクモ類を食べる）のほかに、ヤマブドウ、ノイバラなどの種子も食べます。

（出典：「もっと知りたい森と木の話」 北海道林業改良普及協会）（I）



キツツキの趾は前後2本ずつになっている